

創造性豊かな人を 育むまち

施策

生涯にわたり 個性、創造性を 育む

現状・課題

科学技術の高度化、情報化など社会の急激な変化に伴い、市民の関心は世界に広がり、その内容も多様化しています。また、社会の成熟化*1に伴い、私たちの価値観は、物質的な豊かさだけでなく、心の豊かさへと変化し、環境問題や青少年問題など家庭や地域における社会問題への関心が高まっています。

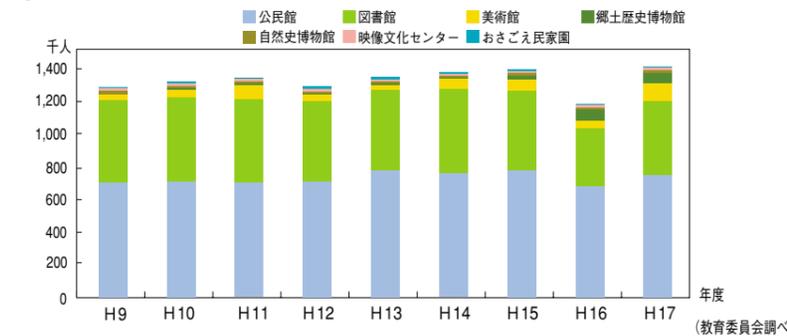
このため、市民が生涯にわたり、学びたいこと、興味があることを学習できる環境づくりが求められています。

また、多様な人と人が、ふれあい交流する活力あるまちを築くためには、市民一人ひとりの個性と創造性を高めるとともに、郷土の個性や魅力を見つめ直し、まちへの愛着心を育むことが大切です。

施策の方向性

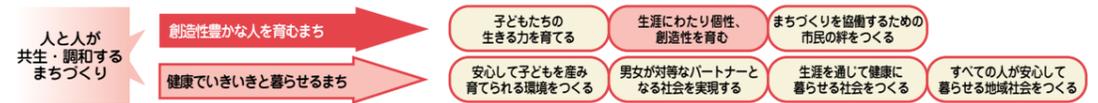
- ・ 生活の質を高める多様な教養、文化に関する学習
- ・ 社会の変化に対応する学習

● 社会教育施設利用者数



●用語説明

- *1 社会の成熟化：社会が経済的・文化的に発達し、最も充実した状態に達すること。
- *2 視聴覚メディア：視覚（目）と聴覚（耳）の感覚を用いて伝えるプロジェクター、映写機、ビデオカメラ・DVDプレーヤーなどの媒体のこと。
- *3 福井学：「福井市」の歴史・自然・文化・産業・景観・生活などの事象を楽しく学ぶことにより、郷土の個性や魅力を見つめ直し、愛着心を育む中で、一人ひとりが誇りと自信を持って生活していこうとする取組み。
- *4 社会教育施設：各市立図書館、映像文化センター、自然史博物館、郷土歴史博物館、美術館、おさごえ民家園、公民館。



課題を解決するために

基本柱1 市民の主体的な学習を推進する

市民の生涯にわたる学習活動を支援・推進する。

中 柱	内 容				
学習内容の充実	◎ 学習内容に関する調査及び研究 ◎ 学習指導及び助言 ◎ ITを活用した学習情報の提供				
学習を支える人材の養成・確保	◎ 社会教育指導者の育成 ◎ 地域の人材の活用				
指標 6	公民館自主学習グループ加入者数	基準値 (H17)	11,936人	目標水準 (H23)	13,500人
指標 7	市民一人当たりの貸出図書冊数	基準値 (H17)	3.58冊/人年	目標水準 (H23)	5.00冊/人年

基本柱2 いつでも、誰でも学べる学習機会を提供する

市民の学習ニーズに対応するため、多様な学習機会を提供する。

中 柱	内 容				
多様な学習資料の提供	◎ 利用者の多様化に対応した図書情報の提供 ◎ IT活用による蔵書検索サービスの提供 ◎ 快適な読書環境の提供 ◎ 多様な教育メディア教材・機器の整備による学習環境の提供				
社会の変化に対応する学習機会の提供	◎ 情報化、少子高齢化、環境問題などの社会的課題についての講座の開催 ◎ 高度情報化に対応した視聴覚メディア*2の活用による学習機会の提供				
郷土を知る学習機会の提供	◎ 郷土の自然、歴史、文化、産業などについての学習情報の提供 ◎ 福井らしさを再発見し、郷土に誇りと愛着心を育む福井学*3の推進				
指標 8	社会教育施設*4利用者数	基準値 (H17)	1,393千人	目標水準 (H23)	1,670千人

◎補完指標 ・ 自然史博物館ボランティア登録者数
・ 公民館講座参加人数